

令和2年秋の全国交通安全運動の実施について

1 実施期間

9月21日(月)から同月30日(水)までの10日間

2 主催

内閣府・警察庁等10府省庁、都道府県、市区町村、関係13団体

3 運動重点

(1) 全国重点

- 子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
- 高齢運転者等の安全運転の励行
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止

(2) 地域重点

地域の交通事故実態等に即して必要があるときは定めることができる。

4 10～12月における交通死亡事故等の特徴

- 死亡事故件数が増加傾向となり、薄暮時間帯の構成率が上昇
- 業務・通勤目的で運転中の死亡事故は7～9月と比較して薄暮時間帯で増加
 - ・ 4～6時台、16～18時台の歩行者及び自転車死亡事故の増加が顕著
- 日没後1時間の横断中歩行者の死亡事故件数が7～9月と比較して倍増
 - ・ 横断歩道以外での横断時間が約8割を占め、うち歩行者の約7割に法令違反あり
- 日没後1時間の自転車の死亡・重傷事故件数も7～9月と比較して増加
 - ・ 出会い頭事故が半数を占め、うち自転車の約8割に法令違反あり

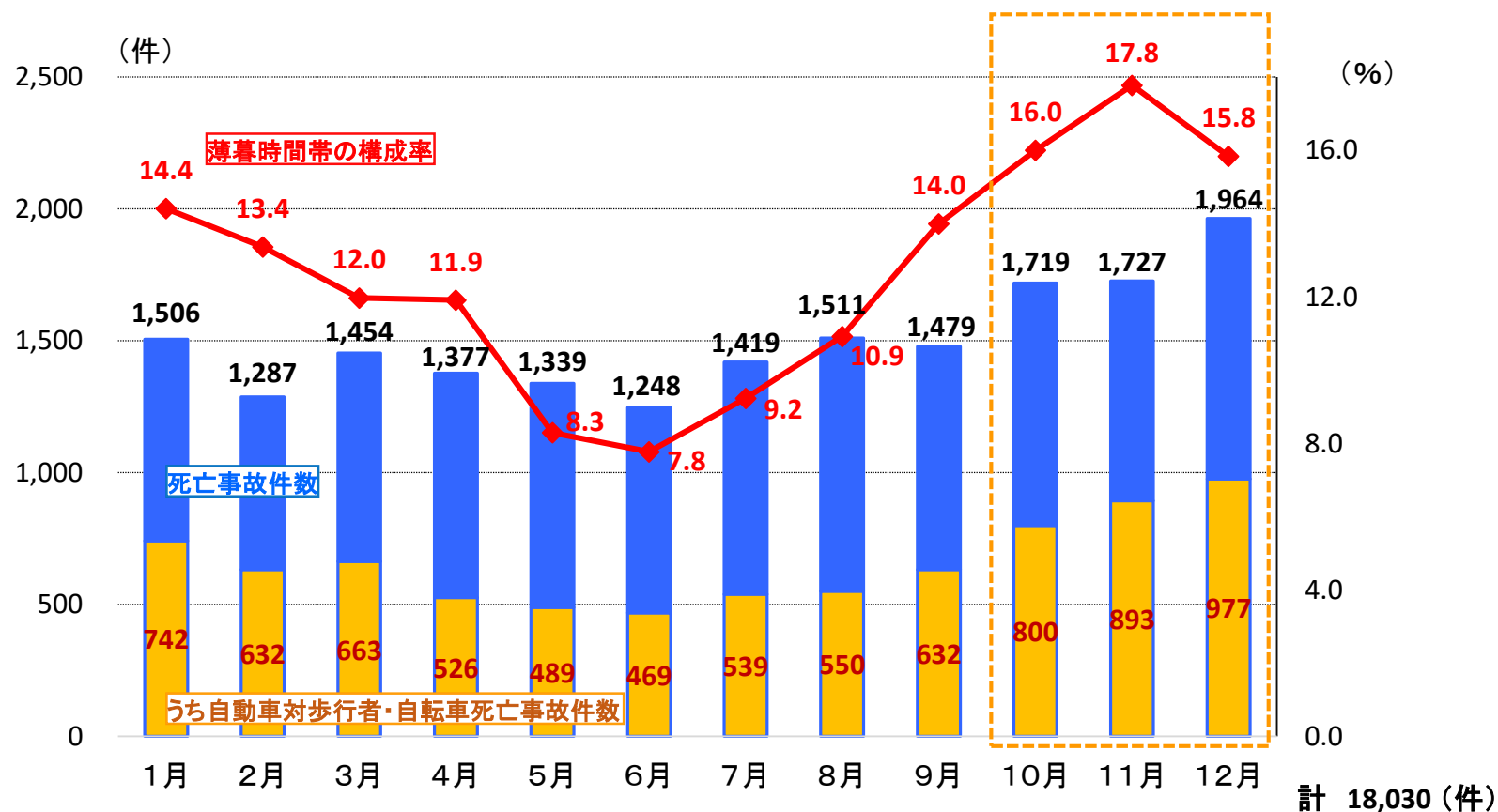
5 警察における重点的取組

新型コロナウイルスの感染状況等に留意し、感染予防対策をとりつつ、下記の項目を中心に、交通安全教育や各種イベント等による広報啓発と交通指導取締りを始めとする街頭活動を推進

- 早めのライト点灯、反射材用品等の着用促進
- 横断歩道の通行と横断歩道における歩行者優先の徹底
- 自転車利用者に対する法令違反の危険性の周知と全ての自転車利用者に対するヘルメット着用の推奨

○ 時間帯・月別死亡事故状況

月別の死亡事故件数 【平成27年～令和元年合計】



(注)・「薄暮時間帯」とは、日没時刻の前後1時間をいう(日没時刻は、各日の各都道府県の都道府県庁所在地(北海道は各方面本部所在地を含む。)の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。)。以下同じ。

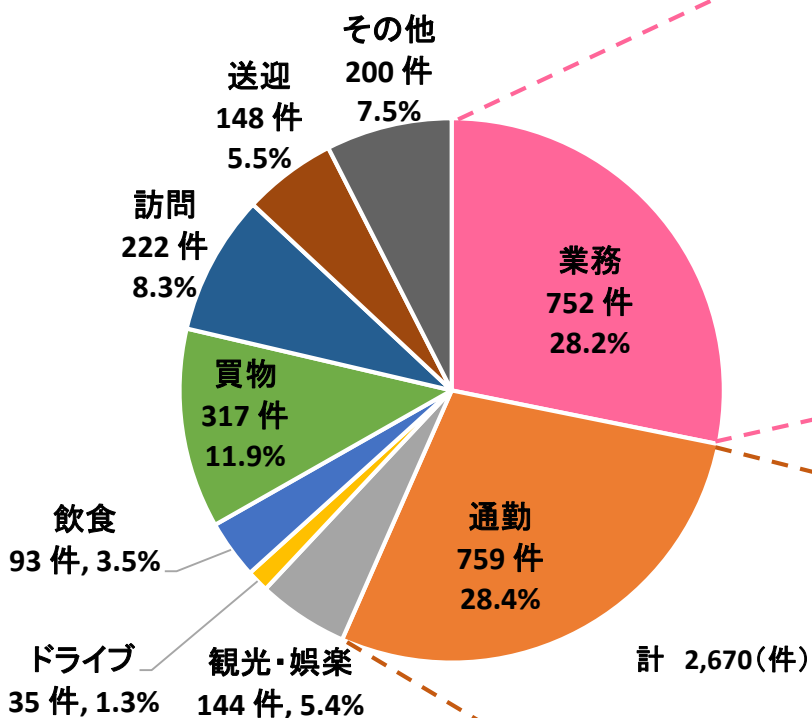
・「自動車対歩行者・自転車死亡事故」は、自動車(乗用車、貨物車、特殊車)対歩行者・自転車事故のうち歩行者又は自転車乗用者が死亡した件数を計上。

・本資料は、令和2年8月13日までに入手したデータにより作成したものである。以下同じ。

・数値は、単位未満で四捨五入してあるため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。以下同じ。

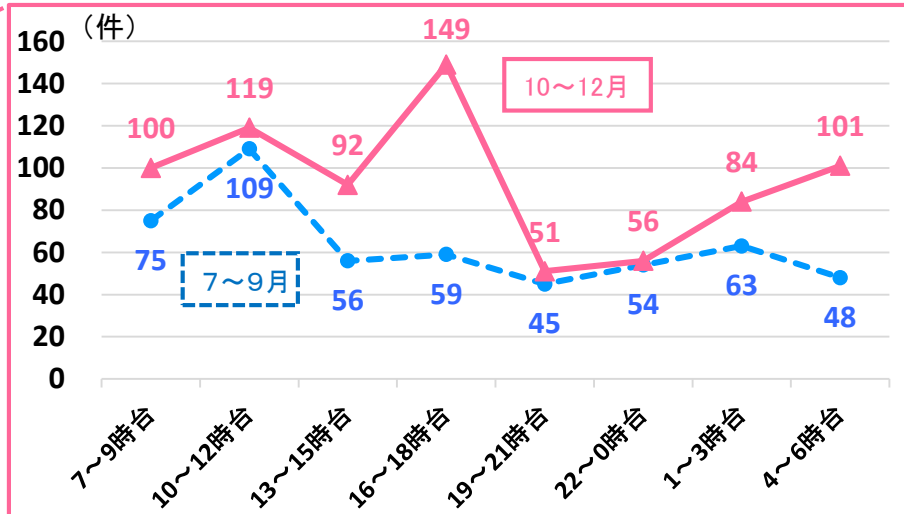
○ 自動車対歩行者・自転車死亡事故の状況

自動車対歩行者・自転車死亡事故における
自動車運転者の通行目的別件数
【平成27年～令和元年各年10月～12月合計】



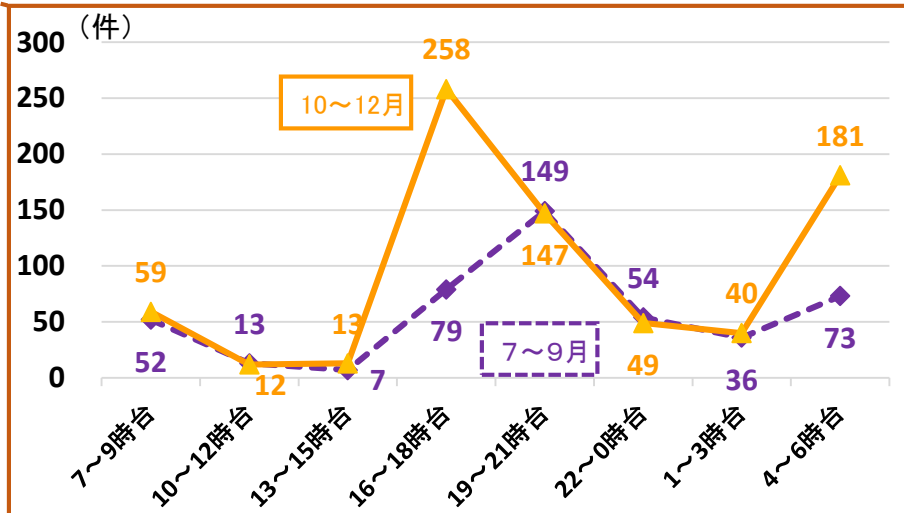
(注)・自動車(乗用車、貨物車、特殊車)対歩行者・自転車事故のうち歩行者又は自転車乗用者が死亡した件数を計上。

【業務目的の月別時間帯別発生状況】



(注)・点線のグラフは、平成27年～令和元年各年7月～9月合計を参考掲出。

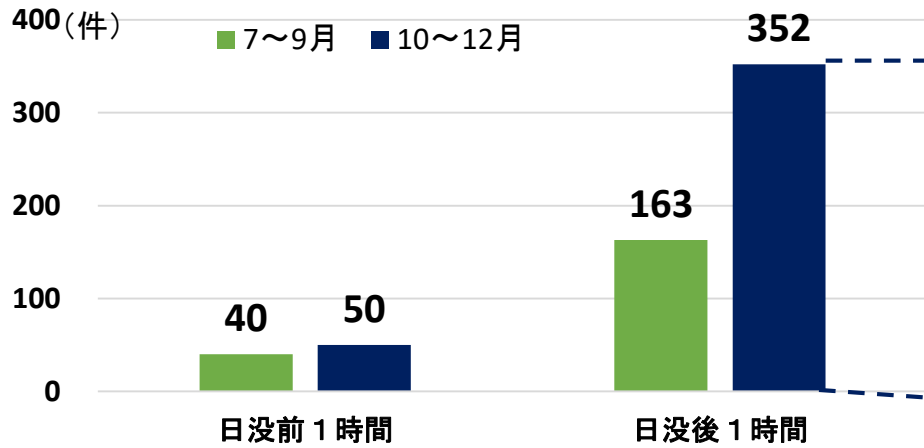
【通勤目的の月別時間帯別発生状況】



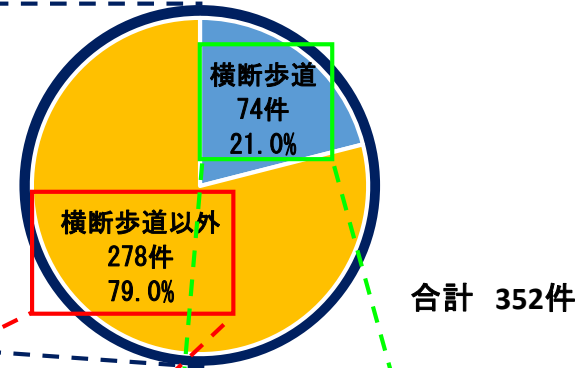
(注)・点線のグラフは、平成27年～令和元年各年7月～9月合計を参考掲出。

○ 薄暮時間帯における自動車対歩行者死亡事故の歩行者の状況

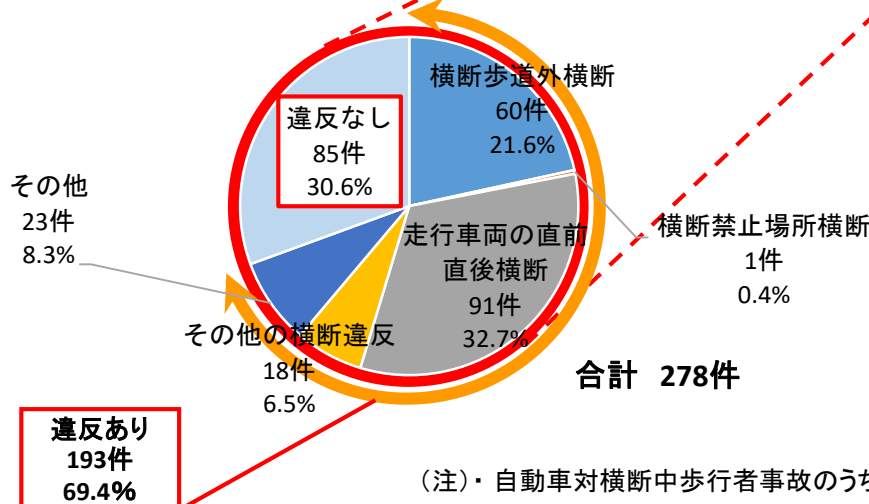
自動車対横断中歩行者死亡事故件数
(平成27年～令和元年合計)



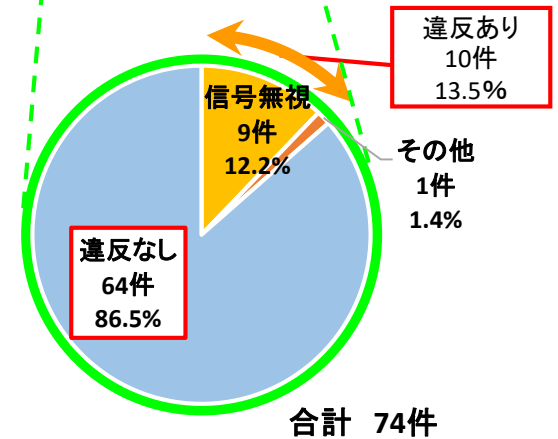
【横断場所】



【横断歩道以外横断中歩行者の法令違反】



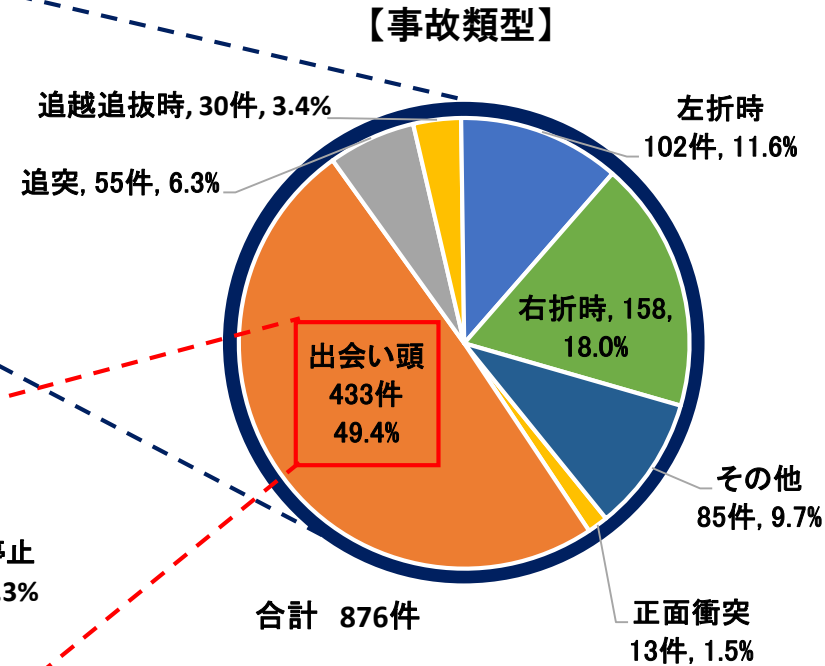
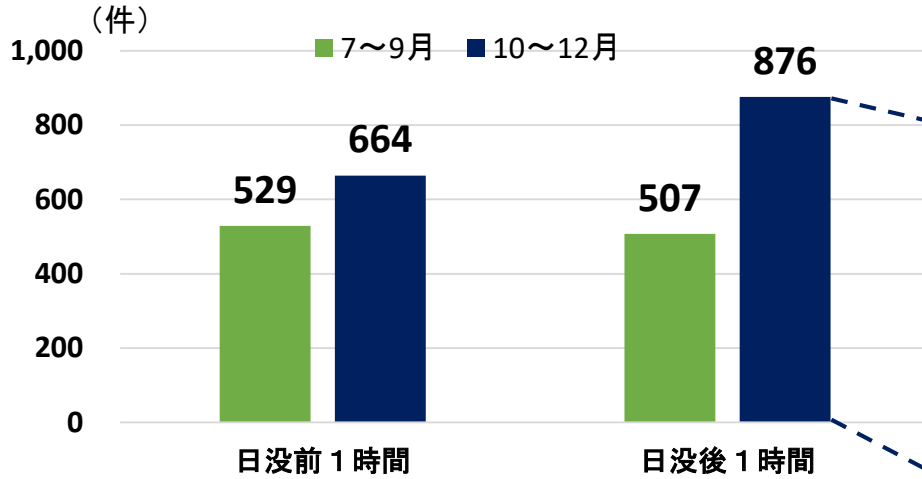
【横断歩道横断中歩行者の法令違反】



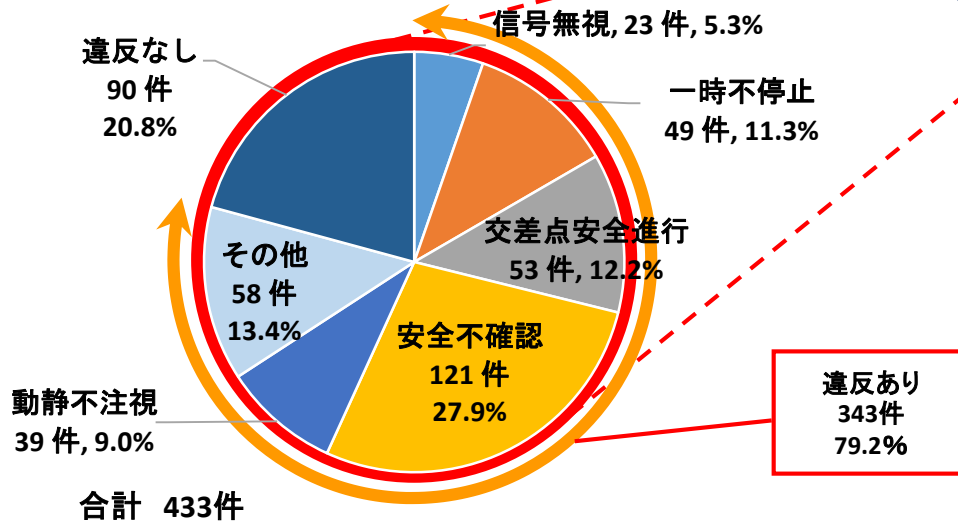
(注)・自動車対横断中歩行者事故のうち歩行者が死亡した件数を計上。

○ 薄暮時間帯における自動車対自転車死亡・重傷事故の自転車の状況

自動車対自転車死亡・重傷事故件数
(平成27年～令和元年合計)



【出会い頭事故の自転車の法令違反】



(注)・自動車対自転車事故のうち自転車乗用者が死亡又は重傷を負った件数を計上。